

第4次静岡市総合計画

自分の長所や可能性を自覚し、他人の意見を尊重して協同しながら
自らの力で未来を切り開くことのできる子どもの育成

園目標 「心豊かなたくましい子」

【目指す園児の姿】

考えるちから（知）

- ・いろいろな物、ことに興味関心を持つ（好きをみつける）
- ・夢中になって遊ぶ
- ・繰り返し楽しむ中で、試したり工夫したりする

豊かなこころ（徳）

- ・自分の良さに気づく友達の良さを認める
- ・思いを出し合い分かり合う
- ・思いやり優しい心・「やってみよう」と挑戦する

丈夫なからだ（體）

- ・健康な体とこころ
- ・基本的な生活習慣の確立
- ・元気なあいさつ

園児の実態

- ・戸外で身体を動かしてよく遊び、異年齢の自然なかかわりがみられる
- ・友達に思いを伝えようとする姿が増えているが、保育者に頼ってしまうところもある
- ・自信がなく周りの様子をみて、動き出す姿がある

地域・園の概要

- ・興津川に沿った恵まれた環境で周辺には山や畑神社がある
- ・小、中学校、近隣園との交流が進んでいる
- ・地域の方がとても温かく協力的である

重点目標 「かんじる かんがえる やってみる」

教育保育の重点と実現に向けた具体策

遊びや生活のおもしろさを実感できる	かかわりを楽しむ	身近な自然の変化に気づく
・一人一人の子どもに願いを持つ ・表情、しぐさ、言葉から子どもの心を読みとっていく ・子ども自身がおもしろさを感じ意欲をもって取り組める保育を探る（やりたいことをやっていくことができる） ・しなければならないことに気づき、自分で考え行動できるようにする	・自分の気持ちを思いっきりだせる安心する日々の生活を創る ・思いを言葉で相手に伝えられるように時間をかけて見守る ・お互いの良さを感じ、違いを面白がっていけるかかわり ・遊びを通して仲間と「たのしかったね!」という経験を積み重ねる	・道草をする。自然の小さな変化を見つけてじっくり楽しむ ・保育者自身が子どもと共に本腰を入れて栽培に挑戦する ・よく観る、触る、感じる、考える、やってみる、味わう ・すぐに調べたり考えたり、表現することができる環境を創っておく
インクルーシブ保育 ・朝の受け入れから遊びにスムーズに入っていけるようにする ・一人一人の理解を深め良さを見つける	研修テーマ 子どもが「もっとやってみたい」と感じて遊ぶための保育者のかかわり 手立て ・一緒に遊びながら、子どもがどこに面白さを感じているかを探る ・もっと面白くするための環境やかかわりを繰り返し実践する	事故防止・防災 職員も子どもも自ら考え行動する訓練を重ねる

学年目標 0歳 特定の保育者に思いを受け止めてもらいながら安心して過ごす	1歳 安心できる保育者と一緒に探索活動を楽しむ	2歳 保育者に十分に思いを受け止めてもらい、様々なものに興味をもって遊ぶ
3歳 自分の思いを出し保育者や友達と好きな遊びをとことん楽しむ	4歳 自分なりに試したり考えたりしながら友達とかかわって遊ぶことを楽しむ	5歳 様々なことに挑戦し、友達と協力して遊びを創っていく達成感を味わう

清水興津中グループ園・小中一貫教育目標 「心豊かで高め合う子」

自分を取り巻くすべての人、もの、ことに感謝し、仲間と協力し、よりよいものを創造している姿

家庭

- ・日々の声掛け、声を受け止める
- ・ピカピカ大作戦
- ・ドキュメンテーションで経過や育ちを伝える
- ・おしゃべり会・裏山探検

地域

- ・日々の声掛け、相談応援
- ・あいあいクラブ
- ・子育てトークの会
- ・興津文化祭、敬老会
- ・寒桜祭り

近隣園・学校

- ・たいやきっこの会
- ・11支部の会、公開保育参観
- ・中小幼おきつ学園
- ・中小学校との特別支援研修会